



11/16(木) 第 7 回都南圏域で開催

盛岡市では、11/16(木)に盛岡市役所都南分庁舎において、今回、第 7 回目となる「地域福祉ワークショップ」を開催しました。

このワークショップは、令和 7 年度を始期とする「第 3 期盛岡市地域福祉計画」の策定にあたり、今年度、市内各地区のみなさんから、「人と人とがつながり、共に支え合うまちづくり」を大きなテーマに、各地区での現在の取組と、将来への希望などのご意見をうかがうために開催しており、日常生活圏域に基づき 7 つに分けて行います。

第 7 回は、10 のグループに分かれて、参加者 56 名が意見交換を行いました。

【当日のタイムスケジュール】

18:30	■ 開会 ・市地域福祉課長より挨拶がありました。 ・続いて、地域福祉課福祉企画係長より趣旨説明がありました。 ・本日の進め方（グループごとの話し合い）について説明のあと、グループごとの話し合いが始まりました。
18:45	■ グループごとの話し合い 各グループには、参加者の話し合いのサポートをする進行役が 1 名入りました。進行役には、大学生 6 名も参加しました。 ・はじめに、グループごとに自己紹介の後、 「地域の交流、顔の見える関係づくり、安心して暮らせる地域づくりのために」 ① 今、地域で取り組んでいること ② これから取り組みたいこと などについて話し合いました。
20:00	■ グループ発表 各グループで話し合ったことを発表し、参加者全員で確認しました。また、話し合った内容のまとめを行いました。  ▲グループ発表の様子
20:30	■ 挨拶・閉会 本日の全ての話し合いを終えて、市地域福祉課長より挨拶がありました。 また、事務連絡の後、アンケートへ記入いただき、閉会となりました。



▲会場風景その 1

▲会場風景その 2

あいさつ、声かけと活動の参加促進によるコミュニティづくり

都南（見前・津志田・乙部・飯岡・永井）圏域のワークショップで話し合われた内容の一部をお伝えします。

現状と課題

町内会の活動

- ・春のお花見会、運動会・スポーツ大会、納涼会、敬老会等の開催。
- ・一人暮らし高齢者の見守り、雪かき支援、各種行事への参加の声かけ。
- ・日帰り研修旅行を実施している。
- ・広報紙や掲示板、回覧板等で情報を発信している。
- ・活動や行事への参加者が固定化してきている。子育て世代や若い人の参加が少ない。
- ・地域における各種役員のなり手がいない。
- ・P T A や子ども会に参加しないという人がいる。

環境活動

- ・グリーン作戦、リサイクル、清掃・美化活動の実施。
- ・公園や集会施設周辺の草取り、ゴミ拾いなど。
- ・看板の設置（ごみ出しのルール、啓発する標語など）。
- ・活動に参加する住民が高齢化してきている。
- ・空き家問題への対応が課題となっている。

交流事業

- ・子育てサロン、母親同士の交流会の開催。
- ・茶話会、高齢者サロンの開催。
- ・虫追いまつり、神社のまつり、もちつきなど季節の行事。
- ・自治会と子ども会による資源回収やふれあい草取りの活動。
- ・新旧住民のコミュニケーションが課題となっている。

健康づくりの活動

- ・認知症家族カフェの開催。
- ・ラジオ体操の実施。
- ・食事や運動など健康に関する活動。

防災に関連した取り組み

- ・地域での防災訓練の実施。
- ・ふれあいマップづくりによる現状の把握。
- ・災害時に支援が必要な人についての情報の共有。

今後に向けて

日ごろからの顔の見える関係づくり

- ・児童の登下校時の見守り活動。
- ・世代を超えたあいさつ運動の実施。
- ・回覧板を渡すときの声かけ。
- ・一人暮らし高齢者への声かけ、行事への参加促進。
- ・小さい単位でのコミュニティづくり。

地域活動への幅広い参加の促進

- ・活動内容や活動状況の共有、地域活動の見える化。
- ・広報紙や回覧板などによる幅広い情報の伝達。
- ・新旧住民による交流機会づくり。
- ・夏まつりや運動会など世代間交流行事の実施。
- ・ニュースポーツ導入などによる幅広い参加の場づくり。
- ・各種のサロン活動の実施。

役員のなり手不足への対応

- ・役員をローテーションで行うしくみづくり。
- ・役員の人数を増やすことによる負担の軽減。
- ・役員報酬の配付。

環境整備・交通安全対策

- ・子どもが遊べる公園などの整備。
- ・気軽に利用できるコミュニティカフェの開設。
- ・交通量が多く危険な箇所への信号機の設置。



▲まとめの模造紙

アンケート結果より 参加した方々からの感想やご意見

- ・自治会長、老人クラブ会長、民生委員など、地域福祉に係る担い手について、これまでのようにボランティア主体に期待するだけでは、今後地域が成り立たなくなるのではないかと心配です。
- ・民生委員さんが少し楽になるようにしてあげたいと感じました。
- ・よくヤングケアラーと言うのを聞きますが、盛岡市ではどのように手を差し伸べているのか？高齢者の話は出ましたが、若い方の親の看護とか大変だと思います。
- ・子どもの集まる家をぜひ作って下さい。ボールパークの花壇が、雑草がいっぱいなので何かを提案したいです。

進行役からひとこと！印象に残ったこと

- ・要支援者マップの作成は、独特の取り組みで、すごいと思った。
- ・コロナ禍などの社会変化に応じて行事内容も変化しているようだった。ただ、その変化を受け入れない（文句を言う）人もいて、役員の皆さんは苦勞されているようだ。
- ・永井地区の中で、自治会活動が全くない地域もあれば、子ども会と老人ホームの交流を活発に行っている地域もあることが印象に残った。
- ・永井地区は近くに駅があったり、病院があったりと、車を利用なくても生活できる環境があることに驚きました。今後も地域の特性を見つけながら、住民の皆さんと一緒に課題と展望を見つけられたらと思います。